

電 力 情 報

NO. 22

平成 25 年 7 月 29 日
東北電力（株）広報・地域交流部

2012年度のCO₂排出実績ならびにCO₂排出削減自主目標（2008～2012年度）に関する実績について

当社の2012年度のCO₂排出量およびCO₂排出原単位は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」（温対法）に基づき算出した結果、以下のとおりとなりました。

【2012年度CO₂排出実績】

CO ₂ 排出量	4,356（4,671）万t-CO ₂
CO ₂ 排出原単位	0.560（0.600）kg-CO ₂ /kWh

※（ ）の値は、京都メカニズムクレジット等を反映していない調整前CO₂排出量、調整前CO₂排出原単位

2012年度は、前年度と比べて販売電力量が増加し、これに伴い火力発電用の燃料消費量が増加したこと等から、CO₂排出量（調整前）は約551万トン増（13.4%増）の4,671万t-CO₂となりましたが、CO₂クレジット等を反映した結果、CO₂排出量は前年度比5.9%増の4,356万t-CO₂、CO₂排出原単位は同2.6%増の0.560kg-CO₂/kWhとなりました（詳細は別紙のとおり）。

なお、CO₂排出原単位については、「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の電気事業者別のCO₂排出係数として、今後、国より公表される予定です。

また、当社は、「CO₂排出原単位を2008～12年度の5カ年平均で、1990年度実績（0.403kg-CO₂/kWh）から20%程度低減（0.322kg-CO₂/kWh程度）すること」を自主目標に掲げ、CO₂排出削減に努めてきましたが、5カ年平均では90年度比3.2%増の0.416kg-CO₂/kWhとなり、自主目標は未達となりました。

これは、2008～10年度は目標レベルを概ね達成していたものの、東日本大震災による原子力発電停止や新潟・福島豪雨による水力発電設備被害に伴い火力発電用の燃料消費量が増加したこと等から、2011、2012年度のCO₂排出原単位が大幅に上昇したためです。

当社においては、原子力発電所の運転が停止している状況が続いておりますが、運転再開に向けて安全性向上に全力で取り組むとともに、火力発電の熱効率向上、再生可能エネルギーの利用拡大、さらには、お客さまの省エネ・省CO₂の取り組み支援等、引き続き電力の需給両面でCO₂排出削減に向けた取り組みに最大限努めてまいります。

以 上

（別紙）CO₂排出実績とCO₂排出量・排出原単位・販売電力量の年度毎の推移